

第2部 環境施策の評価

(1) 岐阜市環境基本計画（令和5～9年度）の施策指標一覧

指標名	基準 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	推進状況 (令和5年度)	評価※
施策1 地球温暖化対策として脱炭素化を促進します				
1 温室効果ガスの排出量の削減				
①本市の温室効果ガス排出量	174.4 万 t-CO ₂ (令和元年度)	111.0 万 t-CO ₂ (2030 年度)	169.5 万 t-CO ₂ (令和2 年度)	○
②市有施設の温室効果ガス排出量	13 万 t-CO ₂ (令和2 年度)	5.7 万 t-CO ₂ (2030 年度)	11.6 万 t-CO ₂	○
③再生可能エネルギーの発電電力量	1,916 TJ	3,415 TJ	2,077 TJ	○
④地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合	83.0% (令和4 年度)	増加	76.8%	△
2 気候変動への適応				
①気候変動が及ぼす影響に関する周知啓発の実施回数	—	15 回	2 回	○
②企業のBCPの策定率	9.0%	増加	9.4%	◎
③市が行う省エネ再エネ関連設備の補助金の申請件数	172 件/年	1,000 件 /5 年間	207 件 /1 年間	○
施策2 ごみを減量・資源化します				
1 廃棄物の減量と資源化				
①ごみの焼却量	122,831 t	100,000 t (令和7 年度)	111,970 t	○
②紙類の年間回収量	14,927 t (推計値)	18,034 t (令和7 年度)	14,165 t	△
③生ごみ減量に取り組む世帯数	430 世帯 (ダンボールコンポストのみ)	1,000 世帯	619 世帯	○
④プラスチック製容器包装の資源化率	79.2% (令和4 年度上半期)	85%	74.3%	△
施策3 生物多様性を保全します				
1 生物多様性の保全				
①生物多様性に関する広報の実施	2 回	8 回	8 回	◎
②自然環境保全活動団体の活動支援回数	43 回	43 回	46 回	◎
③自然を守る取り組みをしている人の割合	34.4% (令和4 年度)	40%	31.8%	△
④本市のレッドデータブックに掲載した生きものの保全に関する活動回数	16 回	増加	14 回	△

※◎：目標以上、○：前進(基準より向上)、△：現状維持(基準比10%程度の増減を含む)、×：後退

指標名	基準 (令和3年度)	目標 (令和9年度)	推進状況 (令和5年度)	評価※
施策4 生活環境を快適にします				
1 大気環境の保全				
①光化学オキシダントの環境基準の適合率	94%	96%	94%	△
②微小粒子状物質(PM _{2.5})の環境基準の適合率	100%	100%	100%	◎
③ダイオキシン類対策特別措置法の対象事業場の基準の適合率	100%	100%	90%	△
④アスベスト除去現場の漏えい基準の適合率	100%	100%	100%	◎
2 水・土壌環境の保全				
①河川水質基準の適合率	89.4%	100%	97.5%	○
②排水基準の適合率	92.7%	100%	98.2%	○
③地下水の概況調査における環境基準の適合率	100%	100%	100%	◎
④ダイオキシン類環境基準の適合率(水・土壌)	100%	100%	100%	◎
3 騒音・振動・悪臭の規制				
①騒音の環境基準の達成率(一般地域)	100%	100%	100%	◎
②騒音の環境基準の達成率(自動車騒音)	93.9%	95%	93.1%	△
③騒音の環境基準の達成率(航空機騒音)	100%	100%	100%	◎
施策5 環境意識を高めます				
1 環境教育の推進と環境意識の向上				
①環境学習をしている人の割合	43.8%	50%	41.8%	△
②出前講座の開催回数	206回	増加	194回	△
③子どもの環境意識	78.2% (令和4年度)	増加	75.0%	△
④こどもエコクラブへの参加団体数	33団体	33団体	24団体	×
⑤体験型環境教育の実施校数	14校	増加	35校	◎
2 市民協働による環境美化の推進				
①ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数	41,883人	42,000人	46,180人	◎
3 環境重点地区の設定				
①生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数	33回	増加	33回	△
②中心市街地の歩行者・自転車通行量	38,600人/日	45,700人/日	40,996人/日	○

(2) 評価部会の委員と開催状況

委員氏名（所属等）		開催日	評価施策
部会長	小島 悠揮（岐阜大学工学部）	①令和 6 年 7 月 30 日	施策 3「生物多様性を保全します」 施策 4「生活環境を快適にします」
副部会長	坂井田 節（長良川環境レンジャー協会）		
委員	藤田 朋子（生活協同組合 コープぎふ）	②令和 6 年 9 月 2 日	施策 1「地球温暖化対策として 脱炭素化を促進します」
委員	岸野 吉晃（公募）		施策 2「ごみを減量・資源化します」
委員	保坂 慎太郎（公募）		施策 5「環境意識を高めます」

(3) 評価結果

◆施策 1

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
7	◎（目標以上）	1	目標達成率(◎)	・前計画から変更した指標が多いこともあり、今回の実績を基に様々な取り組みを進め、さらに前進してほしい。 ・岐阜市全体の温室効果ガス排出量を評価するには、2030 年度より前の中間的な目標数値があると良い。 ・企業の BCP 策定率の底上げのため、分析や効果的な取り組みを行ってほしい。
	○（前進）	5	14%	
	△（現状維持）	1	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	0	86%	

◆施策 2

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価			評価部会の評価・意見
4	◎（目標以上）	0	目標達成率(◎)	・岐阜市全体のごみの焼却量が順調に減少していることは評価できる。 ・プラスチック製容器包装の適切な排出方法について、市民への周知啓発に努めることで、資源化率の向上を期待する。
	○（前進）	2	0%	
	△（現状維持）	2	前進以上(◎・○)	
	×（後退）	0	50%	

◆施策 3

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価		評価部会の評価・意見
4	◎（目標以上）	2	・岐阜市の自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」が十分に認知されていないため、広報の回数を増やすだけでなく、サイトの普及や広報の仕方の工夫にも取り組むことで、「自然を守る取り組みをしている人の割合」の向上に繋がると考えられる。
	○（前進）	0	
	△（現状維持）	2	
	×（後退）	0	

◆施策 4

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価		評価部会の評価・意見	
11	◎（目標以上）	6	・目標達成している指標が多く、計画 1 年目で 55%の目標達成率であることは評価できる。 ・岐阜市内の取り組みだけでは数値の改善が難しい指標については、調査だけでなく改善に向けた具体的な取り組みを検討すると良い。	
	○（前進）	2		
	△（現状維持）	3		
	×（後退）	0		
			目標達成率(◎)	55%
			前進以上(◎・○)	73%

◆施策 5

指標数	推進状況（令和 5 年度）評価		評価部会の評価・意見	
8	◎（目標以上）	2	・現状維持及び後退の指標について、今後前進できるように、特に力を入れて取り組んでほしい。 ・市民意識に関わるが多く、広報によって前進できる可能性が高いと考えられるため、引き続き周知啓発に努めてほしい。	
	○（前進）	1		
	△（現状維持）	4		
	×（後退）	1		
			目標達成率(◎)	25%
			前進以上(◎・○)	38%

◆全体

指標数	推進状況(令和5年度)評価		評価部会の評価・意見
34	◎(目標以上)	11	目標達成率(◎) 32% 前進していない指標も多く、特に施策5は前進の余地があると考えられるため、着実に取り組みを行ってほしい。 計画1年目ということで、今回の結果を踏まえて課題を抽出し、今後の取り組みに活かしてほしい。
	○(前進)	10	
	△(現状維持)	12	
	×(後退)	1	

(4) その他意見等

◆評価部会の意見

<指標に関すること>

・施策1 指標1-①「本市の温室効果ガス排出量」

・評価対象が4年度前の数値であり、これからの取り組みの結果が、令和9年度までの計画期間中に反映されないため、評価が難しい。

・施策1 指標2-②「企業のBCP策定率」

・単年度では変動が大きいため、数年間の移動平均値を使うなど、次回の計画改定時に指標を継続する場合には改善するのが良い。

・目標を「増加」ではなく、具体的な数値でもって設定すべき。

・施策2 指標②「紙類の年間回収量」

・全体のごみ量が減少する中で、紙類の回収量の増加を目標とすることが適当なのか疑問。次回の計画改定時に検討してほしい。

・施策2 指標③「生ごみ減量に取り組む世帯数」

・今後、補助制度がなくなる場合には、他の取り組める項目を増やすことを検討してほしい。

・施策5 指標1-③「子どもの環境意識」

・学ぶ前から行動していた児童生徒を母数に入れての比較が適当なのか疑問。次回の改定時に検討してほしい。

<アンケートに関すること>

・施策1 指標1-④「地球温暖化対策に取り組んでいる人の割合」

・アンケートで答える取り組みの選択肢が高度なものが多いと感じるため、身近なものを加えると良い。

・施策5 指標1-①「環境学習をしている人の割合」

・アンケートで回答する際に、環境学習のイメージがしづらいように感じるため、もう少し具体性のある内容を追記できると良い。

◆環境審議会の意見

令和6年11月8日の環境審議会の会議において、評価部会による評価結果をとりまとめた評価報告書をもとに報告を行いました。環境審議会からの意見はありませんでした。